
悪口

ポイ宇宙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪口

【Nコード】

N1186B

【作者名】

ポイ宇宙

【あらすじ】

仲の良い二人が友情を確認し深めようと思ったが

(前書き)

三作目です

ある、中学校にとっても仲の良い和也と俊がいた。

二人は幼稚園からの仲で一度も喧嘩をしたことがなかった。

ある日、和也がテレビを見ていると、テレビの中の司会者が

「昔、こんな話なかった？」

どんな話ですかとゲストが相槌をうつた。

「ほら悪口を十個言い合えたら本当に仲の良い友達だって」

「ああ、そんなことありましたね」

と懐かしがるゲストそれを見て和也は、明日、学校で俊とやってみようと思った。

そして翌日。和也は俊が登校する時間に合わせていつもより早く家を出た。一刻も早く昨日のテレビでのことをしたかったのだ。

和也は教科書の入ったズッシリとした鞆を肩にかけ、いつもと違う道を走り俊を探した。息が切れてもう走るのが限界になりかけたころに親友の後ろ姿を見つけた。

「おっす」

と和也は俊の肩を叩いた。

「おは」

と俊は返事を返した。

「あれ？お前この道だったけ？」

「いや：お前に言いたいことがあったから」

「そんなの学校で言えばいいじゃん」

「いや、早く言いたかったんだ」

そして和也は俊と一緒に登校しながら昨日のテレビでのことを話した。

そして休み時間、和也は俊の前の席に座っていた。

「それじゃあ、俊やるっか」

先攻は和也「優柔不断」

最初だからかとても軽い悪口だった。そして俊、

「ケチ」

こんな風に進んでいった。そして五回の時に和也が

「チビ」

と俊に対してもっとも言うてはいけない悪口だった、和也もそのことは知っていた。しかし、予想以上に悪口が思いつかなかったので、ついつい口にしてしまった。急に俊の表情が変わった。

「薄毛」

これは和也に言うてはいけない悪口だった。ここから空気が変わった。クラスメイトも空気の変化を感じ、皆二人の方を見た。そこには昨日までの二人はいなかった。

「チビのクセにロリコン」

和也の攻撃だ。

「性病持ち」

黙々と二人は悪口を周りに聞こえるくらいの声で言い続けた。そして十個目が終わると同時に二人は拳を振り上げ殴りかかろうとしていた。二人をずっと見ていたクラスメイトが、急いで二人を制した。

「俊！このやろう」

「離せ、和也を殴らせろ」

その場はなんとかおさめられたが、それで降和也と俊の仲は最悪になり卒業するまで一度も会話することはなかった。

周りで見ていたクラスメイトがこう呟いた。

「あれ、結局あいつら、なんのためにやっただけ？」

「仲の良さを確認し深めるためじゃなかったけ」

と一人のクラスメイトが返した。

（後書き）

疲れました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1186b/>

悪口

2010年10月21日21時39分発行